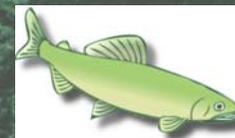


阿木川湖(ダム湖)に生息する陸封アユ

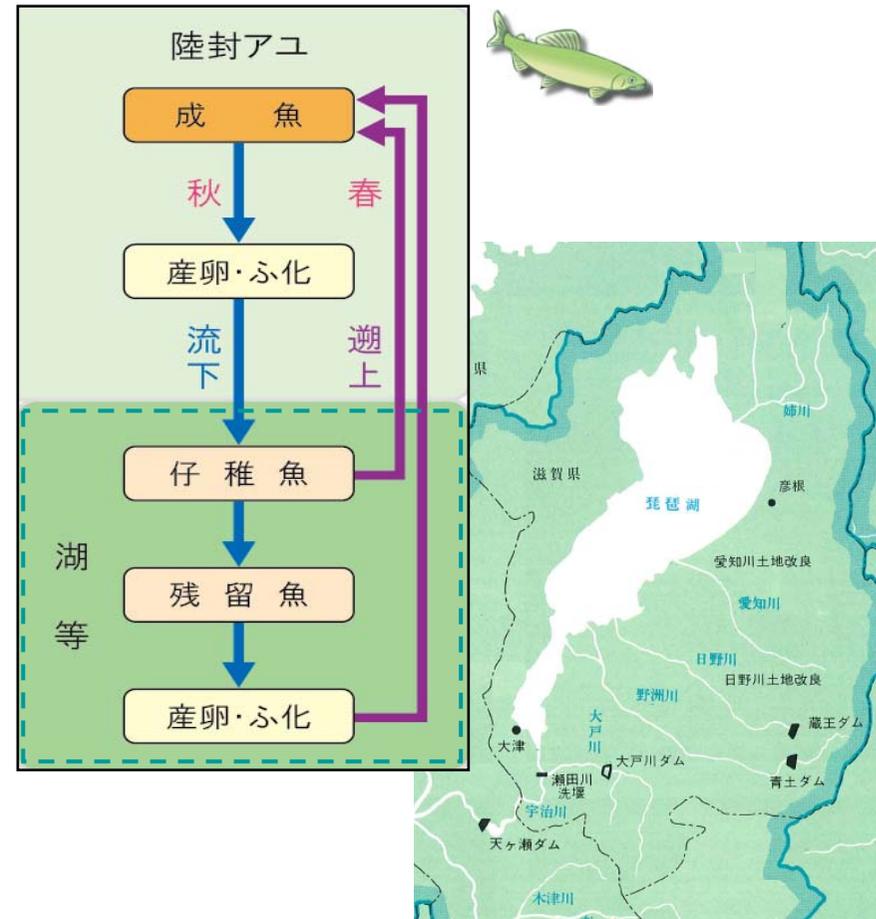
～ダム湖による新たな生息環境の創出～

- ・阿木川湖で自生・再生産を繰り返し、平成24年で8代目。
- ・湖内で採捕・近隣河川に放流し、水産資源として活用。



アユは一回繁殖型の淡水魚であり、通常秋に河川の中・下流で産卵・ふ化し、海で成長、春になると河川を遡上します。（「海産アユ」と呼ばれています。）

しかし、アユの中には、湖沼やダム湖などを海の代わりとして、海に下ることなく淡水域で一生を完結させる個体群も存在します。（「陸封アユ」と呼ばれています。）



木曾川本川上には戦前からいくつものダムが建設されており、海産アユは木曾川上流域まで遡上できません。

阿木川ダム建設前に阿木川にいたアユは、放流されたものです。



阿木川ダム建設後、阿木川湖内で
アユが群れ(アユ玉)を成して生息しているのが確認されています。



湖内で見られる アユ玉

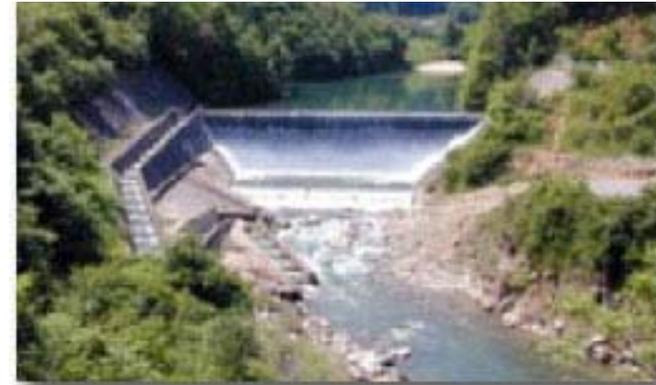


岸辺で群れるアユ(平成24年6月撮影)



岸辺近くで見られたアユ玉(平成24年6月撮影)

阿木川湖上流にある阿木川貯留ダムの魚道では、
毎年5月から7月にかけて大量の稚アユが魚道を遡上しています。



阿木川貯留ダムの魚道



魚道を遡上する稚アユ



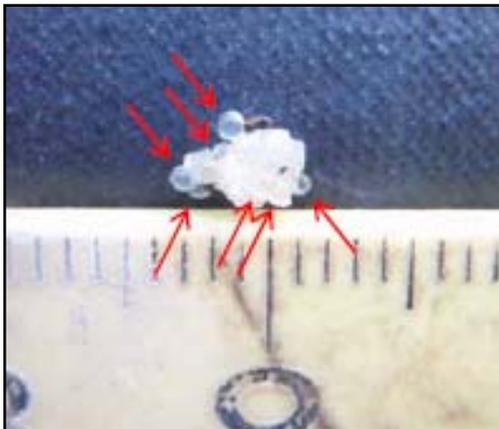
魚道内の稚アユ

阿木川貯留ダム上流域(阿木川湖より上流)において、
毎年9月から10月にかけて産卵が確認されています。



毎年産卵が確認される河川域

この河川域は、魚類保護のため網漁の禁止区域になっています。



アユ卵(H23.10.1)

(阿木川貯留ダム上流域で採取)

平成24年に魚道を遡上したアユは、
阿木川湖で生まれ育った(自生・再生産された)
8代目のアユといえます。



阿木川湖内には、ダム管理開始(平成3年)当初から琵琶湖産アユが放流されてきましたが、平成17年以降は阿木川湖内にアユは放流されておられません。

(注:阿木川湖より上流の阿木川及び岩村川に、阿木川貯留ダムで採捕したアユの放流は続けられています。)

毎年5月から6月にかけて、地元の漁協により、阿木川貯留ダムの魚道を遡上するアユを捕獲し、管轄内の河川に放流しています。

(水産資源としての活用)

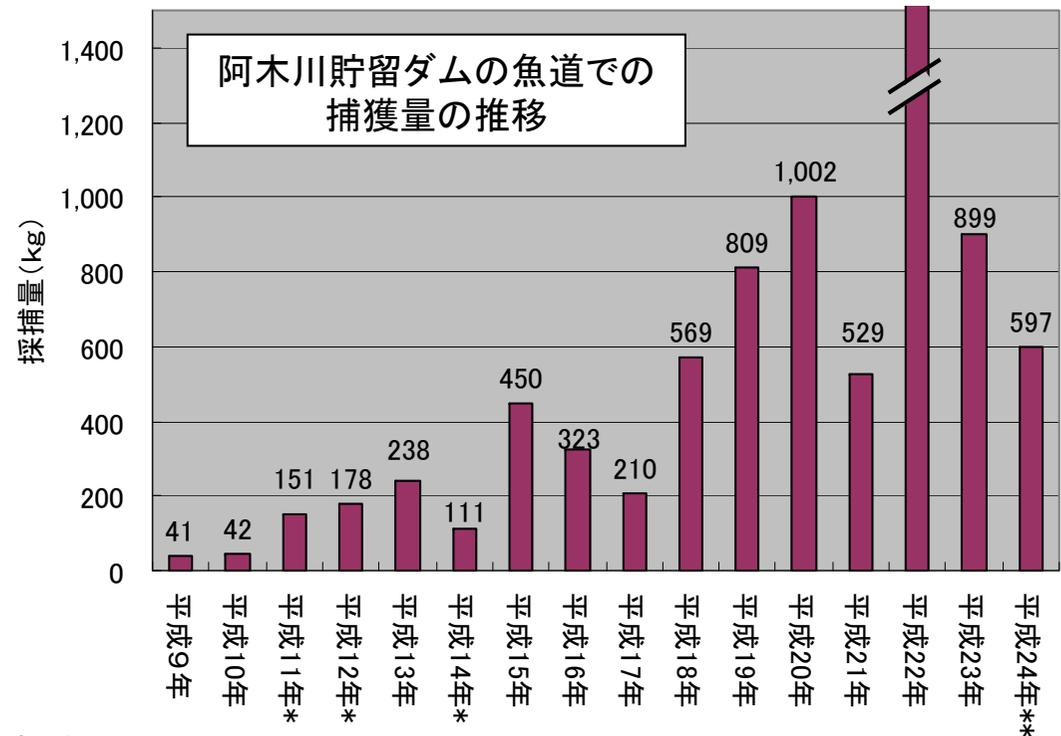


トラップカゴの設置状況

何重ものトラップカゴをすり抜けて多くのアユが堰の上流へ遡上しています。



写真:アユの捕獲状況(毎年5月~6月頃) 1,813



* えりでの採捕量を含めない。

** 岩村川貯留ダム魚道での採捕量を含めない。

阿木川湖で採捕された稚アユは、
恵那市・中津川市内の河川に放流され、多くの釣り人が訪れています。



写真：平成24年解禁日の阿木川



図：捕獲したアユの放流先(平成22年の実績)

阿木川湖および上流河川には、アユ以外にも多くの魚種が確認されています。

表：阿木川ダム湖及び直上流河川で確認された魚種



オイカワ



カワムツ



アブラハヤ



カマツカ



ドジョウ



アマゴ



アユ



トウヨシノボリ

No.	目名	科名	種名
1	ウナギ目	ウナギ科	ウナギ
2	コイ目	コイ科	コイ
-			コイ (ニシキゴイ)
3			ゲンゴロウブナ
4			ギンブナ
5			ニゴロブナ
-			キンギョ
-			フナ類
6			ハス
7			オイカワ
8			カワムツ
9			アブラハヤ
10			ウグイ
11			モツゴ
12			カマツカ
13			コウライニゴイ
14			イトモロコ
15			スゴモロコ
16			コウライモロコ
17		ドジョウ科	ドジョウ
18			アジメドジョウ
19	ナマズ目	アカザ科	アカザ
20		ナマズ科	ナマズ
21	サケ目	サケ科	ニジマス
22			ヤマメ
23			アマゴ
24		アユ科	アユ
25	ダツ目	メダカ科	メダカ
26	スズキ目	ハゼ科	トウヨシノボリ
27			カワヨシノボリ
28		サンフィッシュ科	ブルーギル
29			オオクチバス
30			コクチバス

おわり